資料10

文化庁移転推進シンポジウムの開催について

平成 29 年 9 月 24 日
京　　都　　府
京　　都　　市

１　開催趣旨

(1)　平成２８年３月、地方創生や文化財の活用など、文化庁に期待される新たな政策ニーズ等への対応を含め、文化庁の機能強化を図りつつ、京都に全面的に移転することが決定。

(2)　今後、文化庁が本格移転するに際しては、文化芸術基本法の施行を踏まえ、「新・文化庁」として、食文化をはじめとする生活文化等も文化行政の対象領域に含めるとともに、政策立案機能を強化し、従来の固定化した文化芸術の枠に閉じない観光・産業・教育・福祉・まちづくり等の様々な関連分野と連携・調整して総合的に施策を推進すること等が不可欠とされている。

(3)　こうしたことを踏まえ、文化庁移転を機に日本全体の文化振興、地方創生を図ることを目的として、京都府、京都市、京都商工会議所の共同で、大阪と東京においてシンポジウムを開催する。

２　開催概要

＜大阪会場＞

(1)　日　時　　平成２９年１１月２日（木）午後１時４５分～午後４時１５分

(2)　場　所　　大阪市中央公会堂（大阪市北区中之島１丁目１）

(3)　内　容　　・オープニング：落語　笑福亭鶴笑
・講演：松坂浩史（文化庁地域文化創生本部事務局長）
・パネルディスカッション
テーマ：「文化による地方創生―関西からの展望～文化庁の関西・京都への全面的な移転を見据えて～」
※コーディネーター　佐々木洋三（関西・大阪 21 世紀協会専務理事）

＜東京会場＞

(1)　日　時　　平成２９年１１月３０日（木）午後１時～午後３時３０分

(2)　場　所　　イイノホール（東京都千代田区内幸町 2-1-1　飯野ビルディング）

(3)　内　容　　・オープニング：津軽三味線　吉田健一
・パネルディスカッション
テーマ：「日本文化の展望～文化庁移転を機に考える～」
※コーディネーター　近藤誠一（元文化庁長官）

シンポジウム

文化による地方創生―関西からの展望

～文化庁の関西・京都への全面的な移転を見据えて～

2017年11月2日（木）
午後1時45分～4時15分

大阪市中央公会堂　大集会室
（大阪市北区中之島）

【入場無料】定員：500名
（事前申込制）＊申込方法は裏面参照。

関西には、歴史に裏打ちされた伝統文化・芸能・祭礼が数多く存在します。文化庁の関西移転を契機に、文化で日本を元気にするため、関西が果たす役割を展望します。

◉プログラム

・オープニング：落語「立体西遊記」　笑福亭鶴笑

・挨拶：門川大作（京都市長）

・講演：「文化庁の京都移転と地域文化創生本部の活動」
松坂浩史（文化庁地域文化創生本部事務局長）

・パネルディスカッション：
「文化による地方創生―関西からの展望」

◇パネリスト
奥野卓司（関西学院大学教授、山階鳥類研究所所長）
杉本節子（奈良屋記念杉本家保存会常務理事兼事務局長、料理研究家）
角　和夫（関西経済連合会副会長、関西観光本部理事、阪急阪神ホールディングス代表取締役会長グループCEO）

◇コーディネーター
高島幸次（大阪大学招聘教授、大阪天満宮文化研究所研究員）
佐々木洋三（関西・大阪21世紀協会専務理事）

伊藤若冲「群鶏図」（部分）　細見美術館所蔵
写実と想像を巧みに融合させた「奇想の画家」、伊藤若冲（1716～1800）。京都生まれの若冲が世界から高く評価されたのは、大坂商人、木村兼葭堂（けんかどう）らの支援もあったからです。兼葭堂は、瀬戸内を介して、海外の鶏などの標本・絵図を手に入れていたとも言われています。
京阪を結ぶ二人の交流を、関西文化の総合力を示す象徴として掲出しました。

主催：京都府　京都市　京都商工会議所
協力：文化庁地域文化創生本部　（公財）関西・大阪21世紀協会
後援：関西広域連合　滋賀県　大阪府　兵庫県　奈良県　和歌山県　鳥取県　徳島県　大阪市　堺市　神戸市　大阪商工会議所
（公社）関西経済連合会　（一社）関西経済同友会　（一財）関西観光本部　京都経営者協会　（一社）京都経済同友会
（公社）京都工業会　京都府中小企業団体中央会　関西プレスクラブ　京都新聞　（順不同、一部予定を含む）

シンポジウム　文化による地方創生－関西からの展望　～文化庁の関西・京都への全面的な移転を見据えて～

○オープニング

・笑福亭鶴笑（しょうふくてい　かくしょう）
1984年六代目笑福亭松鶴に入門。1990年ニューヨーク公演を皮切りに、世界各国で毎年、人形を駆使したパペット落語公演を続ける国際派落語家とし活躍。2003年、文化庁「文化交流使」第一号もつとめ、公演実績は世界35カ国、100都市以上にのぼる。日本人として初めて世界三大コメディーフェスティバルを制覇した他、海外での大きな賞も多数受賞。2015年には、パペット落語が厚労省／児童福祉文化財特別推薦を受賞した。

○講演

・松坂浩史（まつざか　ひろし）［文化庁地域文化創生本部事務局長］
早稲田大学を卒業後、外資系コンサルティング会社勤務を経て、1994年に文部省（現文部科学省）入省。文化庁伝統文化課課長補佐、文部科学広報官、馳浩文部科学大臣秘書官、大臣官房参事官などを歴任。今年4月に文化庁の京都への移転に先立って京都市東山区内に設置された地域文化創生本部の事務局長に就任。現在、茂山七五三社中において大蔵流狂言の稽古中。名古屋大学教育発達科学研究科博士後期課程満期退学。

○パネリスト

・奥野卓司（おくの　たくじ）［関西学院大学社会学部教授、（公財）山階鳥類研究所所長］
京都市生まれ。関西学院大学先端社会研究所所長、山階鳥類研究所所長、京都市美術館・動物園学術顧問。専門は文化人類学、人間動物関係学。学術博士。クールジャパンの海外での展開と文化変容に関する研究や、動物、鳥のメディア表象に関する研究などを専門とし、上方の文化・芸能にも造詣が深い。著書に『ジャパンクールと江戸文化』（岩波書店）他多数がある。

・杉本節子（すぎもと　せつこ）［（公財）奈良屋記念杉本家保存会常務理事兼事務局長、料理研究家、エッセイスト］
京都市生まれ。生家は重要文化財『杉本家住宅』・名勝『杉本氏庭園』。和食文化に詳しく京町家杉本家と京都の年中行事・歳時記に関する歴史・食文化と伝統食を継承。食育活動、テレビ出演、著作執筆、食文化展示監修、国内外での講演、料理講師、大学非常勤・客員教授、企業・店舗メニュー開発・監修など幅広く活躍。

・角　和夫（すみ　かずお）［阪急阪神ホールディングス（株）代表取締役会長グループCEO、阪急電鉄（株）代表取締役会長、（公社）関西経済連合会副会長、（一財）関西観光本部理事（副理事長）］
兵庫県出身。早稲田大学政治経済学部卒。1973年阪急電鉄株式会社に入社し、鉄道本部鉄道計画室長、取締役、常務取締役を経て、2003年に代表取締役社長に就任し、2014年から代表取締役会長。また、2006年に阪急阪神ホールディングス株式会社代表取締役社長に就任し、2017年から阪急阪神ホールディングス株式会社代表取締役会長グループCEO。宝塚歌劇団に自身が作詞・作曲した楽曲の提供を行ったこともある。

・高島幸次（たかしま　こうじ）［大阪大学招聘教授、大阪天満宮文化研究所研究員］
大阪市生まれ。夙川学院短期大学名誉教授。日本近世史、天神信仰史を専攻。大阪の歴史文化についての講演会や古文書講座を多数担当し、毎年の天神祭にはパンフ作成やテレビ出演などで情報の発信に努めている。
NPO法人上方落語支援の会理事、一般社団法人おしてるなにわ理事、天満天神繁昌亭大賞選考委員なども務める。2012年、大阪市市民表彰（文化功労）。著書に『大阪の神さん仏さん』（共著）、『奇想天外だから史実』など。

○コーディネーター

・佐々木洋三（ささき　ひろみ）［（公財）関西・大阪21世紀協会専務理事］
東京都生まれ。東京工業大学大学院修士課程修了。1981年サントリー入社。マーケティング部門、経営企画部、関西経済同友会代表幹事スタッフなどを経て、「公益財団法人関西・大阪21世紀協会」に出向し、専務理事に就く。「17食博覧会・大阪」総合監修、関西元気文化圏推進協議会幹事、「平成OSAKA天の川伝説実行委員会」副委員長などを歴任。

参　加　申　込　方　法

●定員500名（入場無料）。応募多数の場合は抽選し、当否に関わらず連絡ハガキを送付します。
●応募には、郵便番号・住所・氏名・電話番号・電子メールアドレス・同伴者氏名（1名まで可）をご連絡下さい。戴いた個人情報は当事業の当否連絡にのみ使用します。
●応募締切は10月17日（火）必着。「はがき」「電子メール」「ホームページ（所定フォーマット記入）」「ＦＡＸ（下記用紙使用）」のいずれかで、下記へお申込下さい。

申込先

文化庁移転推進シンポジウム事務局　〒541-0042 大阪市中央区今橋4－4－7
FAX：　06－6221－5939
E-mail：bunkacho-iten@convention.co.jp
HP：　http://www2.convention.co.jp/bunkacho-iten　検索「文化庁移転推進シンポジウム」
（お問合せ）電話：06－6221－5936
日本コンベンションサービス株式会社内（平日10時～17時）

フリガナ
お名前：

フリガナ
同伴者（1名様まで可）：

ご住所：〒□□□-□□□□　電話［　　－　　－　　］E-mail［　　］

【シンポジウム】

日本文化の展望

～文化庁移転を機に考える～

日時 2017年11月30日（木）
午後1時～午後3時30分

会場 イイノホール
東京都千代田区内幸町2-1-1

【入場無料】
定員 500名
（事前申込制）＊申込方法は裏面参照

【プログラム】

◇オープニング：津軽三味線　吉田　健一

◇挨拶：山田　啓二（京都府知事）

◇パネルディスカッション：
「日本文化の展望
～文化庁移転を機に考える～」

・パネリスト
エバレット・ブラウン（写真作家、会所プロジェクト理事）
長谷川　祐子（東京都現代美術館参事、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授）
松尾　依里佳（ヴァイオリニスト）
村田　吉弘（株式会社菊の井代表取締役、日本料理アカデミー理事長）

・コーディネーター
近藤　誠一（近藤文化・外交研究所代表、京都市芸術文化協会理事長、元文化庁長官）

主催：京都府　京都市　京都商工会議所
後援：文化庁　全国知事会　全国市長会　指定都市市長会　全国町村会　日本商工会議所
関西広域連合　関西経済連合会　（順不同、一部予定を含む）

シンポジウム　**日本文化の展望**　～文化庁移転を機に考える～

○オープニング

・吉田　健一（よしだ　けんいち）［津軽三味線奏者］
兄、吉田良一郎とともに「吉田兄弟」として1999年アルバム「いぶき」でメジャーデビュー。異例のヒットを記録する。
5歳より三味線を習い始め、全国大会などで頭角を現す。器楽としての津軽三味線の魅力を強調することで若い層にリスナーを広げ、2003年の全米デビュー以降、欧米、アジア等、世界各国での活動や、国内外問わず様々なアーティストとのコラボレーションも積極的に行っている。健一は若手トップクラスの奏者が集結した津軽三味線集団『疾風』をプロデュースするなど個々の活動の幅も広げ、伝統芸能の枠を超えて活躍している。平成27年度文化庁文化交流使として、スペイン・イタリア・ポルトガルにて公演およびワークショップを開催。また、バルセロナのカタルーニャ高等音楽院（ESMUC）では津軽三味線の講義を行う。

○パネルディスカッション

○パネリスト

・エバレット・ブラウン（Everett Kennedy Brown）［写真作家、会所プロジェクト理事］
1959年、アメリカのワシントン D.C.生まれ。88年から来日、日本に永住。EPA通信社日本支局長を経て、2012年より写真作家や文筆家として日本文化を国内外に紹介する企画に携わる。「ナショナル・ジオグラフィック」、「CNN」、「New York Times」、「家庭画報」などに広く作品を寄せる。著書に『俺たちのニッポン』（小学館）、『日本力』（松岡正剛氏との共著）（PARCO）、『Japanese Samurai Fashion』（赤々舎出版）ほか多数。京都府観光推進顧問、文化庁長官表彰被表彰者。

・長谷川　祐子（はせがわ ゆうこ）［東京都現代美術館参事、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授］
京都大学法学部卒業、東京藝術大学大学院修了。
金沢21世紀美術館を立ち上げ、現在東京都現代美術館参事、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科教授。上海ロックバンド美術館およびシンガポール現代アートセンター、アドバイザリー委員。犬島「家プロジェクト」アーティスティックディレクター。2017年10月よりポンピドゥ・センター・メッスにて、「JAPANORAMA: NEW VISION ON ART SINCE 1970」をキュレーション。第7回モスクワ現代美術国際ビエンナーレ「Clouds ⇄ Forests」キュレーター。

・松尾　依里佳（まつお えりか）［ヴァイオリニスト］
大阪府出身、京都大学経済学部卒業。
4歳よりヴァイオリンを始め、（故）工藤千博氏などへ師事。大学在学中にプロヴァイオリニストとして本格的な演奏活動を開始。2006年に放送された『のだめカンタービレ』にオーケストラメンバーとして全話出演。作曲・編曲も行い自身のオリジナル曲での活動も開始し、2008年7月にはオリジナル曲を収めたファーストミニアルバム「First Gate」をリリース。2010年9月より、『探偵!ナイトスクープ』の3代目秘書としても出演中。

・村田　吉弘（むらた よしひろ）［株式会社菊の井代表取締役、特定非営利活動法人日本料理アカデミー理事長］
京都の料亭「菊乃井」の長男として生まれる。2004年「日本料理アカデミー」を発足し、2006 年に日本料理アカデミー理事長に就任。2016 年に社団法人全日本・食学会理事長、日本遺産大使に就任。
受賞歴：「卓越技能者（現代の名工）」（2012年）、「京都府産業功労者」（2012年）、「京都府文化功労賞」（2013年）、「地域文化功労者（芸術文化）」（2014年）、「第 66 回日本放送協会放送文化賞」（2015年）

○コーディネーター

・近藤　誠一（こんどう せいいち）［近藤文化・外交研究所代表、公益財団法人京都市芸術文化協会理事長、元文化庁長官］
昭和21年生まれ、神奈川県出身。東京大学教養学部教養学科卒業。昭和47年外務省入省。在米国日本大使館参事官、同公使、外務省経済局総務参事官などを経て、OECD（経済協力開発機構）事務次長、ユネスコ日本政府代表部特命全権大使、駐デンマーク特命全権大使、平成22年7月より同25年7月まで文化庁長官。退官後は、東京藝術大学客員教授、京都市芸術文化協会理事長、東京都交響楽団理事長、日本舞踊協会会長等を務める。

参　加　申　込　方　法

●定員500名（入場無料）。応募多数の場合は抽選し、当否に関わらず連絡ハガキを送付します。
●応募には、郵便番号・住所・氏名・電話番号・電子メールアドレス・同伴者氏名（1名まで可）をご連絡下さい。戴いた個人情報は当事業の当否連絡にのみ使用します。
●応募締切は11月14日（火）必着。「はがき」「電子メール」「ホームページ（所定フォーマット記入）」「FAX（下記用紙使用）」のいずれかで、下記へお申込下さい。
●「はがき」「電子メール」「FAX」でのお申込みの場合は、「東京シンポジウム」参加希望の旨、明記ください。

申込先
文化庁移転推進シンポジウム事務局　〒541-0042 大阪市中央区今橋４－４－７
FAX：　０６-６２２１-５９３９
E-mail：bunkacho-iten@convention.co.jp
HP：　http://www2.convention.co.jp/bunkacho-iten
（お問合せ）電話：06－6221－5936
日本コンベンションサービス株式会社内（平日10 時～ 17 時）
検索「文化庁移転推進シンポジウム」

フリガナ
お名前：

フリガナ
同伴者　（１名様まで可）：

ご住所：〒□□□-□□□□　電話［　　－　　－　　］　E-mail［　　］